



平成21年1月30日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 家守 伸正  
 (コード番号 5713)  
 問合せ先 広報IR部 担当部長 伊藤 斉  
 (TEL. 03-3436-7705)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月29日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想および平成20年4月28日に公表しました配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

・業績予想の修正

1. 平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	900,000	59,000	105,000	70,000
今回修正予想(B)	767,000	8,000	26,000	19,000
増減額(B-A)	133,000	51,000	79,000	51,000
増減率(%)	14.8	86.4	75.2	72.9
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	1,132,372	155,394	217,866	137,808

2. 平成21年3月期 通期単独業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	725,000	33,000	57,000	38,000
今回修正予想(B)	616,000	1,000	3,000	2,000
増減額(B-A)	109,000	34,000	54,000	36,000
増減率(%)	15.0	-	94.7	94.7
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	946,762	105,318	146,013	96,811

### 3. 修正の理由

第3四半期に入り米国および欧州を中心とした金融危機の影響が実体経済に波及し、世界経済全般にわたって需要が急速に落ち込みました。また世界的な信用収縮の影響で商品市場から資金流出が続いたことなども加わり、非鉄金属価格が前回業績予想公表時(平成20年10月29日発表)の予想と比較して大幅に下落しました。さらに円ドルレートも100円を切る円高水準が続いたことから、第3四半期の当社資源・金属事業の業績は大幅に悪化いたしました。第4四半期の業績も同様に推移すると見込まれます。また、電子・機能性材料事業についても、電子機器・半導体の世界的な需要の著しい減退により業績の大幅な悪化が予想されます。このため前回予想に比べ売上、利益ともに大幅に減少する見通しとなりましたので、業績予想を修正いたしました。

#### ・ 配当予想の修正

当期の配当金につきましては、当期純利益が大幅に落ち込む見込みとなっているため、遺憾ながら、株主の皆様への期末配当は実施を見送らせていただく予定です。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	13円00銭	13円00銭	26円00銭
今回修正予想	13円00銭	0円00銭	13円00銭
前期実績(20年3月期)	15円00銭	15円00銭	30円00銭

(注) 今期第2四半期末の配当13円00銭は実施済

#### ・ 当社の今後の対応について

##### 1. 足元の対応

当社は、急激な経営環境の悪化を受けて、昨年後半から全社にわたるコストの削減、設備投資実施時期の見直しなどによる徹底した支出削減を進めています。また本年1月5日に発表した非鉄金属需要減退を踏まえた主要地金の減産の実施、電子・機能性材料事業では、受注減による操業度低下に対応した雇用調整の実施を含めた操業費用の削減、在庫の圧縮をはかっています。

##### 2. 役員報酬の減額

取締役および執行役員の報酬につきまして、平成21年2月から常勤10%、非常勤5%の削減をいたします。また、監査役から、常勤10%、非常勤5%の報酬返上の申し入れがあり、平成21年2月から実施します。

##### 3. 中長期戦略

当社は、急速に悪化している市場環境に適切に対処するとともに、将来の成長に向けて掲げている中長期計画は着実に進めてまいります。引き続き健全な財務状態を考慮しつつ、技術開発、資源確保に積極的に対応し、人材を育成し、競争力をさらに高めてまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上